

奈良市市民参画及び協働によるまちづくり推進計画 平成24年度事業評価総括表

No.	事業名	課名	開始年度	方向性	総合評価	協働に対する総合評価の理由など
1	奈良市ボランティアセンターの運営	協働推進課	H18	継続	A	お互いの特性を活かし、相互に自立した関係を保ちながら事業を行えたため。
2	もてなしのまちづくりの推進	協働推進課	H19	継続		平成24年度は推進委員会を開催していない。
3	郡山市復興支援プロジェクト(采女物語)	観光戦略課	H24	完了	B	事業実施に関して、相手の自主性を十分に尊重できたと考えられる。
4	男女共同参画活動団体協働事業	男女共同参画課	H17	継続	B	女性団体によって事業の自立に差がある。
5	地域人権教育支援事業	人権政策課	S48	継続	B	協働開催することで、相互に補完し連携することができた。
6	中学校の弁当選択制	保健給食課	H20	継続	B	配膳員ボランティアとともに、弁当選択制の事業が達成できた。
7	教職員教科研修事業	教育支援課	-	継続	A	活動団体と事前打合せを密に行い、ねらいに沿った教職員研修を開催することができた。
8	教育センター学習事業	教育支援課	H23	継続	A	イベントの計画から実施、評価に至るまで団体と連携して行き、中身の充実したイベントを実施することができた。
9	学校規模適正化検討協議会との協議	教育政策課	H20	継続	C	多くの地域で協議会との協議が始まっていないため、総合的にはCとした。但し、各校区に市が考える適正化の目標年次を示し、学校の現状や計画案について説明していることから、一部の評価項目についてはBとした。
10	地域で決める学校予算事業(学校支援地域本部事業)	地域教育課	H20	継続	A	コーディネーターの研修運営では、共に学び合う関係づくりをすすめることができた。
11	放課後子ども教室推進事業	地域教育課	H19	継続	A	全ての小学校で放課後子ども教室を展開することができた。
12	黒髪山キャンプフィールド管理運営	地域教育課	H18	継続	B	目的を共有し、より良い施設になるように管理運営並びに事業の実施に取り組んできたが、施設利用者が固定化しており利用が伸び悩んでいる。
13	生涯学習センター・各公民館における主催事業の協働	地域教育課	H13	継続	B	目的の共有や互いの特性を踏まえた役割分担などはできているが、「共に学び」「共に育ち」「共に変わる」という意識や緊張感を保った関係づくりに課題が残ると考えるため。
14	公民館運営審議会	地域教育課	S26	継続	B	委員の方々の経験や知識を生かし活発に審議できた。今後はより踏み込んだ議論ができれば今後の発展を期待できる。
15	おはなし会	西部図書館	H20	継続	B	おはなしの会との協働はうまく実施できているが、目標値の達成は難しい。
16	市民考古サポーター活動事業	埋蔵文化財調査センター	H21	継続	B	活発な活動はできたと認識しているが、今ひとつサポーターの自主性を導き出せなかった。
17	奈良市文化振興計画	文化振興課	H19	継続		平成24年度は委員会を開催していない。
18	ならまちわらべうたフェスタ	文化振興課	H5	継続	A	今年度は20周年記念という節目の年ということもあり、各団体はそれぞれの立場で今まで以上にイベントを盛り上げるべく工夫をこらしていた。各団体の持ち味を出したイベントとなったため例年より多くの人がこのイベントに参加した。
19	旧入江泰吉邸活用ワーキンググループ会議	文化振興課	H23	継続	A	実施設計を作成するに当たって、最大限ワーキンググループの意見を取り入れることができたため。
20	奈良市西部会館市民ホール(学園前ホール)の運営	文化振興課	H20	継続	A	公平、公正な施設運営ができた。また互いを補完しながら業務を協働で遂行できたと認められるため。
21	奈良市北部会館市民文化ホールの運営	文化振興課	H20	継続	B	施設使用料の納入や施設の使用承認の業務について滞りがあり、指定管理業務を完全に遂行できていなかったと認められるため。
22	奈良市都祁交流センターの運営	都祁行政センター地域振興課	H22	継続	B	それぞれの役割について更に協議を進める必要があるが、市民の文化芸術意欲の高揚につながった。
23	奈良市都祁生涯スポーツセンターコート等4施設の運営	スポーツ振興課	H22	継続	B	地域性を考慮して、施設の管理・整備を自主的に行っている。
24	奈良市青少年野外活動センターの運営	スポーツ振興課	H21	継続	B	魅力のある教室・イベントの実施等により、利用者の増加を図った。
25	奈良市都祁体育館の運営	都祁行政センター地域振興課	H22	継続	B	それぞれの役割について更に協議を進める必要があるが、各スポーツクラブを始め、市街地の各種クラブ団体等の利用促進につながった。
26	地域福祉活動の支援事業	福祉政策課	H16	継続	B	対等で、お互いパートナーとして主体性を活かしつつ、プロセスを重視して取り組んでいるが、達成目標数には至っていない。今後は、より一層の協働関係を深め、機関やプログラム内容を検討する。
27	奈良市月ヶ瀬福祉センターの運営	福祉政策課	H22	継続	B	福祉センターが、センターだよりを発行するなど地域に溶け込み、福祉活動を行っている。
28	奈良市都祁福祉センターの運営	福祉政策課	H22	継続	B	福祉センターが、センターだよりを発行するなど地域に溶け込み、福祉活動を行っている。
29	奈良市子ども条例検討子どもワークショップ	子ども政策課	H24	継続	A	子どもの目線による子どもならではの、多くの意見、提案をもらい、今後子ども条例を検討する際に参考とすることができたため。
30	奈良市子ども条例検討委員会	子ども政策課	H23	継続	A	市民公募の委員から、積極的に意見をいただくことで、市民目線での検討に寄与できたため。

No.	事業名	課名	開始年度	方向性	総合評価	協働に対する総合評価の理由など
31	子育て親子の集える場の提供	子ども育成課	H5	継続	A	交流会、スタッフ研修等を実施することで、当事業の主旨や目的の明確化と共有化を図り、子育て支援の輪が広がってきた。
32	子育て支援アドバイザー事業	子ども育成課	H18	継続	B	活動回数は大幅に増加したが、アドバイザーと地域との交流・連携化がより活発になれば、更なる地域コミュニティの活性化を図ることができる。
33	奈良市幼保再編検討委員会	子ども政策課	H23	継続	A	市民公募の委員から、積極的に意見をいただくことで、市民目線での計画策定に寄与できたため。
34	視覚障がい者向け広報等発行事業	障がい福祉課	S57	継続	B	互いの役割分担は十分行っている。この事業の根本である市広報誌作成の段階から協議等をする体制が出来れば、よりよい情報を視覚障がい者に提供出来ると考える。
35	奈良市子ども発達センターの運営	子育て相談課	H23	継続	A	療育相談室(直営)との定例会議も真摯な姿勢であり、利潤の追求ではなく「就学前の子どもの療育」という視点や子ども発達センターの公共性を十分理解した児童発達支援を提供できている。
36	認知症サポーター養成講座	長寿福祉課	H20	継続	B	講座直後は認知症に対する意識の変化、自分の役割について意識することができるが、それが継続して保持できているか、確認したり、スキルアップする体制が不十分であるため、やりっぱなし感がある。
37	奈良市立都祁診療所・月ヶ瀬診療所の運営	病院事業課	H22	継続	A	互いの立場を理解し、特性を活かしつつ、協力しながら事業を進めることができた。今後も協力関係を継続しながら事業を進めることがふさわしい。
38	奈良市立柳生診療所・田原診療所の運営	病院事業課	H18	継続	A	互いの立場を理解し、特性を活かしつつ、協力しながら事業を進めることができた。今後も協力関係を継続しながら事業を進めることがふさわしい。
39	20日ならウォーク	健康増進課	H18	継続	A	協議会主催のウォーキングでは、コースづくりから当日の運営、反省会に至るまで協議会主導で実施することができた。事業全体では、事業の方向性や展開方法について検討し、役割分担を認識して行動することができた。
40	食生活改善地区組織活動推進事業	健康増進課	H5	継続	A	地域伝達活動以外に関係団体と協働で食育活動に取り組んだことで、会員のスキルアップとともに食推協の活動の場が広がった。
41	奈良市総合医療検査センターの運営	保健総務課	H23	継続	B	医療という専門性の高い事業であるため、よりよい協働関係を築くためにはさらに協議の場をもつ必要がある。
42	奈良市食育推進会議	保健総務課	H20	継続	A	互いの特性を生かして、共通の目的を達成するために協働事業を進めることができたため。
43	医療相談事業「春うらら会～神経難病患者・家族の集い」	保健予防課	H16	継続	A	患者家族の意向を踏まえながらお互い協議の上方向性を決めながら運営出来た。
44	住まいの耐震化のすすめ	建築指導課	H22	継続	C	目的を共有しているが、対象が完全に一致しておらず、また、お互いの立場の違いもあり難しい。
45	自主防災防犯組織活動交付金	危機管理課	H18	継続	B	防災防犯意識は高まったと実感しているが、各地区での参加型の自主防災防犯活動がより多く実施できれば、さらなる防災防犯意識の向上につながると考えるため。
46	独り暮らし高齢者世帯防火訪問	予防課	S46	継続	B	防火訪問を実施したクラブは防火意識の充実強化を図ることができたと思われるが、未実施のクラブ等があった。
47	幼年消防クラブの育成及び活動	予防課	S62	継続	A	文化財防火教室等により幼年期の防火教育の高揚が図られた。
48	応急手当普及啓発活動事業	救急課	H6	継続	B	講習会受講者より講習内容は高評価であった。応急手当の必要性の理解を得られた。
49	放置自転車ゼロ商店街計画	防犯・交通安全課	H23	継続	B	放置自転車を一掃するための啓発活動を実施したが、依然として自転車等が放置されているため。
50	奈良市自転車駐車場の運営	防犯・交通安全課	H18	継続	A	指定管理者と常に連絡報告を行いながら管理運営が適正に実施できた
51	地域防犯活動推進事業	防犯・交通安全課	H21	継続	B	活動団体には自主的な活動をお願いしているが、活動内容について協議する場を持つことができればよりよい安全・安心なまちづくりを推進することができると考えられるため。
52	奈良市地球温暖化対策地域協議会	環境政策課	H21	継続	B	行政と会員との間で事業活動の目的を共有しており、また活動における行政への依存という面では改善がみられた。
53	アダプトプログラム推進事業「さわやかクリーン奈良」	協働推進課	H20	継続	B	様々な広報媒体を用いて団体の紹介やアダプトプログラムの紹介などを行うことで、市民への周知や団体の意識の向上につなげることができた。
54	佐保川清掃	まち美化推進課	-	継続	B	住民による自主的な活動を尊重し、本市の役割であるごみの収集・運搬処理を支援することで、それぞれの認識が高められた。
55	人と動物がともに暮らせるまちづくり事業	生活衛生課	H15	継続	B	自治会との連携により、事業の認知度は高まっているように思われた。ポスター内容の選定課程における自治会の関わり等、協働について工夫することができれば良かった。
56	環境フェスティバル、ならクリーンフェスタ	企画総務課	H6	継続	B	市が企画し、協働相手の市民等が関わるのは実施からという現況で、互いの関係性の確立が難しく、自立を促せなかった。
57	ごみ減量キャラバン	企画総務課	H24	継続	B	新規事業のため、手探りな部分も多くあったが、市民にごみ減量を啓発できたため。
58	クリーンセンター建設計画策定事業	施設課	H17	継続	C	クリーンセンターの建設という共通の目的に対し、各委員それぞれが発言していただいたが、意見集約ができなかったことがあった。
59	まちかど景観発掘隊	景観課	H22	継続	A	協働で開催することにより、新たな街かど景観を発掘し、今後のまちづくりに生かせると考えた。
60	違反広告物を出さない街づくり推進団体	景観課	H16	継続	B	各団体の自立化は出来ているが、団体毎に温度差があるため。
61	都市計画道路整備事業(三条線)	街路課	H8	継続	B	良好な歩行者空間を整備することにより商業の活性化や沿道の商店街の賑いを再生するという目的達成に向けて取り組めた。
62	グリーンサポート制度	公園緑地課	H20	拡大	C	多数の団体が活動を開始し、多様な要望・意見等が寄せられたが、活動支援、広報活動等の十分な対応ができなかった。

No.	事業名	課名	開始年度	方向性	総合評価	協働に対する総合評価の理由など
63	なら燈花会開催事業	観光振興課	H11	継続	A	観光閑散期の奈良の夏に多くの観光客を呼び込むために始まったが、ボランティアの協力なくしては立ち行かなくなるイベントであり、協働し観光振興、地域振興につなげることができた。
64	ガイド付きツアー	観光振興課	H22	継続	A	コース選定や広報手段についてお互いのノウハウを出し合い、協働して事業を進めることが出来た。
65	しあわせ回廊～なら瑠璃絵～開催事業	観光振興課	H21	継続	B	観光閑散期の真冬の二月に多くの観光客を呼び込むため始めたが、ボランティアの協力なくしては立ち行かなくなるイベントであり、協働し観光振興、地域振興につなげた。
66	バサラ祭り開催事業	観光振興課	H10	継続	A	実行委員会が主体となり実施されているが、広域な広報や駐車場等実行委員会で購入できないところを協力し、事業を実施することができた。
67	観光情報発信力研修	人事課	H20	完了		
68	月ヶ瀬梅林周遊道路整備	道路建設課	H17	継続	D	改修委員会から地元権利者に協議内容が知らされていないように感じる。
69	転害門前観光駐車場の運営	観光振興課	H18	継続	B	管理運営については、指定管理者が主体的に行っており、市との良好な協働関係により実施できた。
70	奈良市ならまち格子の家の運営	観光振興課	H18	継続	B	指定管理者の主体的な企画運営により、効果的な事業を行うことができた。
71	奈良町からくりおもちゃ館の運営	観光振興課	H24	継続	A	活動団体と適宜調整を行い、奈良町観光振興に大きく寄与することができた。
72	奈良市グリーンホールの運営	観光戦略課	H16	継続	B	自主事業や館運営に対し、少なからず協議の余地が残されていたように感じたため。 (奈良市主催の行事が入った際の、グリーンホールの対応等)
73	奈良工芸フェスティバル	商工労政課	H1	継続	B	企画内容、実施方法等については実行委員会が主体で行っており、自主的な活動がなされている。行政はフォローする形で、携わっている。
74	開かれた市政	秘書課	H21	継続	C	協働の形態が情報提供のため、市民からの反応がないと評価が難しい。
75	まちかどトーク	広報広聴課	H18	継続	A	前年度より参加者等が増加し、目標値を超え、市政への関心等を深めることができた。
76	「奈良しみんだより」の英訳	広報広聴課	-	継続	A	評価項目について、事業の目的を達成することができているため。
77	パブリックコメント	広報広聴課	H17	継続	A	市の政策の基本的な計画づくり等について、市民の声を聴くことができた。
78	タウンミーティング	地域活動推進課	H18	継続	A	市と自治連合会が協働して開催できた。
79	まちづくり振興事業「月ヶ瀬地域振興協議会」	月ヶ瀬行政センター地域振興課	H17	継続	B	目的を共有し地域振興に係る事業の実施を行ってきたが、役割の明確化や自主性・自立化についての協議を深めるまでには至らなかった。
80	都祁まちづくり協議会事業	都祁行政センター地域振興課	H17	継続	B	それぞれの役割について更に協議を進める必要があるが、年次目標も達成され、都祁地域の活性化につながった。
81	地域要望を聞く会	地域活動推進課	H18	継続	A	地域要望を聞く会を開催し、市長以下市の幹部が地域の声を直接聞いた。
82	協働のための研修	協働推進課	H20	継続	B	市職員と市民や市民公益活動団体と共に研修を受講することで、それぞれの協働に対する意識の向上が図れた。
83	自治連合会等活動推進	地域活動推進課 他	-	継続	B	地域コミュニティの再生には努力されているが、情報共有や意見交換がもう少しできればよいと考えるため。
84	「未来奈良市」政策コンテスト(若者の市政への関心を高めよう)	総合政策課	H24	継続	B	決勝コンテストに向け、参加してもらった高校生・大学生のグループに積極的にプログラムに参加をしてもらうことができた。
85	総合計画の施策評価における第三者評価	総合政策課	H24	継続		第4次総合計画策定後、新たな施策体系のもと、初めて施策評価を実施した本年度については、第三者評価について検討したものの実施には至らなかった。
86	奈良市行財政改革評価会議	行政経営課	H24	継続	A	奈良市行財政改革評価会議全般について共通認識を持つことができた。
87	入札制度の適正化	契約課	-	継続	B	各委員会との連携は良い評価を与えられるが、ホームページ掲載による市民への情報提供については、より一層わかりやすい掲載を目指す必要があるため。
88	租税教室の開催(講師の派遣)	市民税課	H20	継続	A	お互いに目的を共有し、役割を分担しながら事業の実施を行えたと考える。
89	奈良市中心のふるさと応援寄附促進事業	納税課	H20	継続	B	前年度より、寄附件数・金額ともにUPした。また、新たなところへの具体的なPRができた。

継続	86
拡大	1
廃止	0
完了	2
合計	89

A	33
B	46
C	5
D	1
E	0
空白	4
合計	89